

もてぎチャンピオンカップレース 第3戦 レポート

(ツインリンクもてぎ ロードコース 5月12日 晴れ)



<レーシングチーム> LTV Racing

<ドライバー> 天野 翼 (20歳)

<参戦クラス> Super-FJクラス(ゼッケン23番 参加15台)

<マシン> ZAP F109

<タイヤ> YOKOHAMA

<オイル> WAKO'S

<リザルト> 予選 3位

決勝 2位

<リザルト詳細URL>

ツインリンクもてぎ http://www.twinring.jp/result_m/2013/4wheel/

Super-FJオフィシャル <http://www.jss-org.com/>

<詳細レポート>

* 金・土曜日練習走行

今回のレースは、F3 や FCJ、GT ASIA のビッグレースと併催ということもあり、金曜日と土曜日各1本しか走行枠が無く、重要なセッティングの確認を行う。金曜日は中古タイヤながら、自己ベストタイムに迫る2分2秒6を記録。順調な仕上がりを見せる。土曜日は生憎の雨模様となってしまったが、今までレインコンディションでの走行経験が無い為、今後に備えて走行練習を行う。ここでもマージンをとった走りで2番手タイムを記録する。

* レース当日

【公式予選】

練習走行で確認したセッティングで、20分間のタイムアタックに挑む。前回までのレースより路面温度が高いことと、前日の雨による路面コンディションから、後半にベストラップを刻めるように、ライバルよりも1周少ないタイミングでコースインする。作戦は当たり、走り始めは常にトップタイムを更新していたが、想定以上に路面温度が上がっている為、5周目のベストラップ以降タイムが上がらず、2'03.556のタイムで予選3番手となった。ポールポジションは初のクイックヴァン選手だった。

【決勝レース】

スタートは、やや出遅れてしまったが3位をキープする。しかし、4番手の選手のペースが良く、常にパッシングを仕掛けてくる。トップ争いも激しく、順位を入れ替えながら4周目に突入。天野選手はブロックに徹し3位をキープしていると2位の選手がコースアウトし2位に浮上する。5周目以降はさらに背後からのパッシングを受けて防戦一方となってしまうと、トップの選手が逃げ始めてしまう。7周目の1コーナでは3位の選手の巧みなパッシングに耐え切れず、軽く接触してしまうが立て直し、10周のレースを2位フィニッシュすることができた。



2位表彰台と最低限の結果は残せましたが、トップ争いができず防戦一方の消極的なレースとなってしまったことは反省しなければなりません。今回のレースでも多くの経験ができました。更に成長する為にも反省点を改善し、今後のレースに活かしていかなければなりません。

初勝利に向けて、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

【ドライバーコメント】

今回はシーズン中盤戦のレースという事で、ここでしっかりと結果を残すという事を目標にレースに臨みました。まだまだ、セッティングやドライビングで至らない部分があり、厳しいレース展開となりましたが、自分の持てる現状での最大限の力を発揮できたと思います。次戦に向けて、更なる調整を重ね、優勝を目指します。